

第32期新潟市社会教育委員会会議

実施年月日	第6回 平成29年5月22日(月)実施		
会場	クロスパルにいがた4階403講座室	傍聴人	0人
会議内容	1. 開会 2. 教育次長あいさつ 3. 委員自己紹介 4. 職員自己紹介 5. 協議事項 (1) 建議策定スケジュールについて (2) 第32期社会教育委員会建議の構成について (3) 意見交換グループについて 6. 意見交換 7. その他 8. 閉会		
出席者	【社会教育委員】 伊井 昭夫 伊比 宗宏 神林 むつみ 雲尾 周 田村 祐一 南雲 保子 本間 利恵 横坂 幸子 渡邊 喜夫 【事務局】 古俣教育次長 三保中央図書館長 五十嵐中央公民館長 大井中央図書館企画管理課長 松田中央図書館サービス課長 枝並地域教育推進課長補佐 今井生涯学習センター所長 生涯学習センター(鈴木次長補佐、井浦係長、本宮副主査、井部副主査、玉木主事)		
会議録			
1. 開会 2. 教育次長あいさつ 3. 委員自己紹介 (事務局) 本日は、新しい委員をお迎えして初めての会議となりますので、ここで委員の皆様から自己紹介をお願いしたいと思います。今年度の抱負やご自身の活動内容などについてご紹介いただけるとありがたいと存じます。 名簿の順に、伊井委員からお願いいたします。 (伊井委員) 私は伊井といいます。静岡県出身でございます。静岡と井伊といたら直虎でございます。今年1年、こういう自己紹介をやっておりますが全然関係ないようで、私の伊井の字と逆なのです。「井」が先でございます。静岡に生まれましたが、現在、新潟の有明台に住んでおります。いつも自転車で通っております。 生涯学習では関屋地区公民館を主体に動いております。そこで何をやっているかということ、モーニングサロンを担当しております。それから2番目には、囲碁が好きなものですから囲碁をやっています。それから3番目に料理教室、男性クッキング。男の人がなるべく外に出るよとということ、男性クッキングをやっています。その他、最近は鳥屋野公民館に行きまして落語をやるようになりました。3年目になりますが、腕はまだまだでございます。 以上でございます。ひとつよろしく申し上げます。 (伊比委員) こんにちは。下越教育事務所社会教育課からこの4月に新通小学校にまいりました、伊比宗宏と申します。よろしく申し上げます。黒川村に派遣社協でお世話になり、それから新潟市教育委員会青少年課にお世話になり、そして下越教育事務所。いずれも社会教育、社会体育にかかわらせて			

第3 2期新潟市社会教育委員会議

いただいております。また勉強させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(神林委員)

神林むつみと申します。よろしくお願いいたします。中央図書館協議会委員をしております。個人としては読み聞かせボランティアです。今、小学校に4校行っていますけれども、朝の読みボラに4校行ったり、図書館でのお話の時間に入らせてもらったりしています。個人的な感想なのですが、今年の1年生がブックスタート初年度の子どもたちなもので、ひまわりクラブなどに行くと、最初の4月、5月は毎年とても荒れているのですが、今年はとてもよく聞いてくれるのでブックスタートの恩恵を被っているのかなと思って、一人ほくほくしています。よろしくお願いいたします。

(雲尾委員)

雲尾周です。教職大学院と教育学研究科は同じ意味なので、教育学研究科のほうを削って新潟大学教職大学院にしておいてください。

先週の木曜日に全国社会教育委員連合の理事会・総会がございまして、平成 29、30 年度の役員が新たに決まりました。また続けて監事になってしまいました。ただ、来年5月になると私の任期が切れて、向こうは議長でないといけないうちで、こちらで4期やればさすがにもうやらないだろうということで、向こうの委員会をどうするのかと少し心配しているのですが、それは私が考えることではないのでいいかなと思っております。

昨年立ち上がりました教職大学院の担当をしておりますが、その前のところでは学習社会ネットワーク課程というところで生涯学習社会に資する学生を育成しておりましたおかげで、今年はその学習社会ネットワーク課程 45名の卒業生の内、5人も新潟市で採用していただきまして、誠にありがとうございます。ただ、あまり公民館に行っていないので、そこはなんとも言いがたいところもあるのですが、

ここに水がもう1本あるのは、午前中に県立教育センターで講義研修をしましてそのときにももらった水なのですが、新任教頭研修を今日はやってきました。会場に100人くらい、全県の新任教頭がいらっしゃって、3分の2くらいの方が今日は代休のところ出張してきているということで、代休出張しても、多分、この代わりの休みを取れないだろうなと思いつつ、しかし、学校が休みのときに出張できるほうがうれしいという不思議な段階です、今の段階は。その中の後ろのほうに、教職大学院の2年目の学生が学校経営コースのシャドーイング実習ということで、一緒に聞いていました。そのように、今日、休みの学校も多いですので、まちなかもけっこう小学生があちこちうろろしておりましたけれども、ああいう子どもたちが代休の日にもまた公民館や社会教育施設で学べるようにということも考えていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(田村委員)

皆さん、こんにちは。光晴中学校の田村祐一と申します。今年2年目になります。

私は生まれも育ちも魚沼市です。県内を転々として、仮の宿で生活した、当時、新津だったので、なぜかその場所に定着して、新津に住んで20年たちました。母親一人魚沼にいたので、まさにあちらの過疎地、空き家が増え、家がどんどんなくなっていく私のふるさとを見ていると、本当にさみしい思いがするばかりです。新潟市は人口が多少は減っているようですが、人がいるということは、やはり活気があっていいなと思っています。

また今年1年、よろしくお願いいたします。

(南雲委員)

皆様、こんにちは。新潟市小中学校PTA連合会からまいりました、南雲保子です。今年はいよいよ下の子が小学校6年生になりまして、気づけば長くなりました白山小学校の三役も今年で最後の年になりました。これでPTAからすっきり離れるかなと思いつつも、中学校のほうも待っているような気がして、ちょっとどうだろう、まだ続くのかなという気はしています。

社会教育委員としては2年目になります。昨年度は何が何だか分からないうちに1年間過ぎたような気がしますので、昨年度学んだことを生かしながら、本年度はもっともっと何かできればと思っ

第3 2期新潟市社会教育委員会議

ております。皆様、どうぞよろしくお願いいいたします。

(本間委員)

本間莉恵と申します。NPO法人みらいず works で西区のほうで活動しております。普段、小中高校のキャリア教育ということで、主に学校にいて総合学習の時間などに授業をさせてもらったり、先生の研修をさせていただいています。

今までは学校教育中心だったのですけれども、やはりそこだけでは子どもたちの可能性を伸ばしきれないなと思ひまして、今年度からは社会教育の分野で学校以外の地域での子どもたちのチャレンジを応援しようという事業も始めました。そのような視点でもこの社会教育委員での学びも生かしていきたいと思っています。今年度もよろしくお願ひします。

(横坂委員)

こんにちは。横坂幸子と申します。坂井輪地区公民館運営審議会委員としてまいりました。

仕事は子育て教育相談の仕事をしております。若いお母さんたちと小さい子どもたちと遊ぶ毎日です。社会教育委員で2年目になります。昨年度は子ども食堂を見せていただいて、それが1年間で11に増えたというのが、とても社会が何かを求めているのだな、それにこたえようとしているのだなと思ひました。今年もまた何か新しい、社会が動いているところに目を向けていきたいと思ひております。よろしくお願ひいたします。

(渡邊委員)

私は新潟市南区大通南からまいりました。自治会長を今年で3年目です。それと、今年の4月から自治協議会の委員を拝命いたしました。それから地元の老人クラブの会長をやっております。新しい場で皆さんからいろいろな意見を聞いて、そして勉強させていただければということで、喜んで参加させてもらっています。

今回、ここに応募させていただいたのも、いろいろな意味で自分の生涯教育がどのようにあるべきか、あるいは皆さんとともに、逆にどうあるべきかということを考える場として出席させていただきました。勉強不足ではありますが、私なりに一生懸命やりたいと思ひていますので、よろしくお願ひいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

4. 職員自己紹介

— 事務局 各自あいさつ —

5. 協議事項

(1) 建議策定スケジュールについて

(雲尾議長)

事務局より説明をお願いいたします。

(生涯学習センター所長)

建議の策定スケジュールについて、ご説明させていただきます。

資料2をご覧ください。上段は昨年度、下段が本年度の計画になっております。

本年度の社会教育委員会議は網掛けの箇所になっており、計5回の会議を予定しています。本日の第6回会議では、全体で建議の骨子についてご協議いただき、その後、グループ単位で建議内容について意見交換をしていただく予定です。7月の第7回会議では、素案や執筆分担についてご協議いただき、8月、9月の2か月でグループごとに執筆、それから10月の第8回会議では各グループが作成した案について全体で協議いただきまして、そこで皆さんから出た意見を踏まえ、グループ単位での最終案ということで予定しています。12月の第9回で最終案をご協議いただき、1月の第10回会議で第32期の建議を決定するという流れになっています。2月には教育委員会定例会で事前説明を予定していることから、1月には完成をお願いしたいと考えております。

第3 2期新潟市社会教育委員会議

資料右側の現地視察・ヒヤリング等の欄になりますが、こちらについては後ほど担当者から説明させていただきます。

次に、資料6をご覧ください。本年度もテーマを踏まえ、現地視察を企画いたしました。日時は6月14日水曜日午後1時から4時30分まで。視察先は笹口小学校内にあるふれあいスクール事業を行っているほっとハウス笹口と、今、新潟市が地域包括ケアシステムの構築に向けて取組んでいる中で、地区のモデルハウスとして最初に立ち上がった実家の茶の間・紫竹を予定しております。当日のスケジュールにつきましては、記載のとおりとなっております。

(雲尾議長)

ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、お気づきの点、ご質問等ありましたらお願いいたします。

よろしいですか。それでは、概ね資料のスケジュールで進めていくということで、よろしくお願いたします。

(2) 第3 2期社会教育委員会議建議の構成について

(雲尾議長)

事務局より説明をお願いいたします。

(生涯学習センター所長)

資料3をご覧ください。第32期社会教育委員会議建議の構成について(案)となっております。タイトルになりますが、『学びの循環』による人づくりです。「はじめに(前文)」というところで経緯から入りまして、項目は第1章から第4章まで。第1章については生涯学習や社会教育をめぐる状況。第2章で学びの循環。第3章では本市の生涯学習の目指すところ。第4章でまとめをしまして、「おわりに」で今後に向けてという流れです。あとはその他資料となっております。

本日は、第3章の本市の生涯学習の目指すところにつきまして、次第6の意見交換でグループに分かれてご議論をお願いしたいと思っております。詳細については、後ほど担当からご説明させていただきます。

(雲尾議長)

ただいまの説明について、ご質問等ありましたらお願いします。

よろしいですか。では、建議の構成については資料3のとおりといたします。

(3) 意見交換グループについて

(雲尾議長)

事務局より説明をお願いいたします。

(生涯学習センター副主査)

資料4をご覧ください。そちらに、今日、意見交換していただくグループを記載してあります。グループについては、先回の会議の際にご希望をお聞きしたグループ分けで記入しております。伊比委員におかれましては地域グループに入っていただいて、議論いただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それから、今後、議論を進めて行くに当たりまして、委員の方どうしの連絡等の必要が出てくると思っておりますので、事務局に教えていただいているメールアドレスを委員の皆様だけにお知らせしたいと思っておりますので、もし不都合のある方がいらっしゃいましたら、本日お帰りまでの間に事務局にその旨お伝えください。お願いいたします。

それからもう1点、意見交換する前に10分間の休憩を予定していますが、その休憩の際にレイアウトを変えようと思っておりますので、移動ができるように荷物をまとめていただけますように、お願いいたします。

(雲尾議長)

ただいまの説明について、ご質問等ありましたらお願いいたします。

第3 2期新潟市社会教育委員会議

よろしいですか。では、このあと休憩を挟んでレイアウト変更ということで、意見交換に入りますので、休憩をお願いいたします。

(事務局)

それでは、ここで10分間休憩を挟みまして、意見交換についてはこの部屋の時計で40分から始まりますので、それまでにお席にお戻りください。

併せまして、用務のため教育次長はここで退席させていただきますことをお許しください。それでは、休憩に入ります。

— 休 憩 —

6. 意見交換

(事務局)

お時間になりましたので、再開させていただきます。

(雲尾議長)

まず、事務局より説明をお願いします。

(生涯学習センター副主査)

意見交換の説明をさせていただきます。意見交換ですが、3時50分まででお願いいたします。議論していただいた内容は、最後の5分間を使って発表していただきますので、議論を始めていただく前に、発表、進行、記録という役割を、まずはグループの中で決めていただきたいと思います。発表はしていただくのですが、議論は今日中にまとまらなくてもけっこうです。お話が進んだところまで、こういったお話が出ましたという内容でもけっこうですので、今日のお話の内容を発表いただきたいと思います。最終的にまとめたものは、6月20日までに事務局にいただければと思います。今日お渡しした紙で提出いただいてもけっこうですし、電子メールなどでデータを送っていただいてもけっこうです。だれが事務局に提出するかも議論の中で決めていただけるとありがたいと思います。会議は4時で終わりますけれども、この部屋は5時まで使えますので、今後の進め方をお話いただくためにグループで残って使っていただいてもけっこうです。

そのほかの意見交換の進め方は、資料5の冒頭に書いてありますので、そちらをご覧くださいと思います。議論は委員の方が中心になって進めていただいて、事務局として入っている担当課は市の取組みについてお伝えいただくようお願いいたします。

また議論していただく中で、こういったところも視察に行きたいといったお話がありましたら、事務局に伝えてください。事務連絡は以上です。

(雲尾議長)

それでは、はじめてください。

— 意見交換 —

(雲尾議長)

それでは、学校、社会教育施設、地域の順番で発表をお願いします。

(南雲委員)

発表させていただきます。『学校』を舞台にした循環型生涯学習ということで、私たちのほうは課題として二つ上がりました。子どもたちに地域の課題をどう認識させるか。そして、その子どもたちが学んだことを地域に、今であり将来であり、どう返していくかというこが課題という話になりました。

提言としましては、人との横のつながり、親同士、地域、子どもの横のつながりを、学校を舞台にして、いかにかわりの場を作るか。学校を舞台にしてかわりあいを作る場とするということで、提言を上げさせていただきたいと思います。

(雲尾議長)

第3 2期新潟市社会教育委員会議

では、社会教育施設、お願いいたします。

(横坂委員)

意見はたくさん出たのですが、到達点がなくて申し訳ございません。新潟市の現状ということで、公民館と図書館の現状をお聞きしました。公民館のほうは利用団体の数は変わっていないけれども、高齢化してグループが固定化してしまっているのが減少傾向にある。それから少子化の問題。あとは、類似した施設が新潟市は増えているので、利用がそちらにも回っているため、利用が少なくなっているのではないかとということでした。

公民館が生涯学習の課題を背負っている場所なのですけれども、類似している施設とどう違うかという、年間利用ができる、料金が安いということがあります。しかし、根本的には職員がきちんというということだと思います。そういうことで、コミュニティセンターは1.5倍の料金であると。公民館はこの料金で、それにもかかわらず減少しているのはこういうことではないだろうかということでした。利用団体は変わっていないけれども、グループが固定化して少なくなっている、少子化、類似施設が増えているという3点ではないかとということでした。

課題までは行ったのですけれども、これに対してどうすればいいのかということはお出ておりません。もう少し考えなくてはいけない、何を考えて何を実施していくかということまでは到達しておりません。

もう一つ、図書館ですけれども、児童書の貸し出しは増えています。少子化でも減ってはいない。ただ、大人に関していえば、スマートフォンなどの影響があるのか、減っています。課題としては、PR不足かも知れない。今後は市民の生涯学習の役割をしっかり持っているという認識を持って、学校の図書館に出向いていたりほかのところに出向いてPRしていこうと、実際に動いているということでした。それと、図書館に読み聞かせのグループがあるのですけれども、学んでもそこから続きの独立したサークルや実施に至っていないのは、実施する機会が少ないからではないかという課題が出ておりました。それに対してどうしていいのかというのは、図書館に関しては外に出て行くという、課題についてはそうしていこうということでした。

いろいろな意見が出ていろいろな課題が出てきて有意義な時間だったと思いますが、発表する段になるとどうしていいのかわからなくて、これくらいのことになってしまいます。申し訳ございません。

(雲尾議長)

では、地域グループ、お願いします。

(本間委員)

まず、地域を舞台にした循環型学習ということで、地域を舞台というと、学校も含み社会教育施設も含み、地域とは何だろうと、どう定義して、だれが何を学習成果として生かすのかというイメージがわからずに、そもそも私たちはどうしたらいいのだろうかというところから始まっています。

地域を考えたときに、地域というのはそもそも形に見えないということが話になりました。自治会とかコミュニティ協議会とかPTAとかいろいろな会がありますけれども、そこをめぐる課題として見えてきたのは、担い手、若手がなかなか育たないとか、地域の団体がつながっていないということや情報が共有化されていないことは確認しました。そのうえで、地域づくりの担い手はだれになるのだろうか、だれが担っていけばいいのだろうかという話をしました。

少し飛ぶのですが、例えば、70代の年配の方が自治会、コミュニティ協議会の中心になってはいるものの、もっとその前の世代が地域に目を向けるにはどうしたらいいかということで、一つ、例えば、働いている世代からボランティア休暇みたいなものを取得できるようにとか、学校とつないでお仕事とか生き方、働き方みたいなものを語るみたいに、働きながらも地域に出て行くことも考えられるのかなという話が出ました。いろいろな地域をつないでいく形はあるのかなと思っていて、今後の視察にもありましたが、実家の茶の間もとても参考になる事例があるなど。自然に人が集まってきて、そこに地域資源が集まってくるというスタイルからは学べそうだと思います。渋谷のほうの大人の駄菓子屋という事例もあるということで、そういうものも参考になるかもしれないとい

第3 2期新潟市社会教育委員会議

う話をしました。何分、今、公民館が事業もサークル数も減っていて、なかなか講座形式で何時にここで何を教えるということにそぐわなくなってきました。みんなインターネットで必要な情報は得られるし、その辺の学び方とか生かし方が変わってきているということ踏まえて、もう少し考えていく必要があるのかなという気がしました。

まとまりがないのですけれども、話し合った結果としてお話ししました。

(雲尾議長)

ありがとうございました。最後まで行っていないということですが、一応、提出日が6月20日となっておりますので、このあと、各班でまとめていただきまして、6月20日までに事務局にご提出ください。そのため、今後のスケジュール調整等で残られる場合は、この部屋は5時まで使えるようですので、会議終了後、この部屋でしばしご相談いただければと思います。

意見交換はこれで終了といたします。

7. その他

(雲尾議長)

その他連絡事項等がありましたら、お願いします。

(生涯学習センター係長)

皆さん、活発な意見交換、どうもありがとうございました。私から数件、事務連絡をさせていただきます。

6月14日に予定されています視察の件なのですが、資料6をご覧くださいと思います。6月14日に現地視察ということで、ふれあいスクール事業のほっとハウス笹口と地域包括ケア推進モデルハウス事業の実家の茶の間・紫竹ですが、この日、ご都合の悪い方、欠席する方がいらっしゃいましたら教えていただきたいと思います。

(田村委員)

市内大会の役員なので。

(横坂委員)

調整させていただきます。

(雲尾議長)

ほっとハウス笹口だけ行かせていただいて、実家の茶の間・紫竹は、授業に戻りますので。こちらに来ないで現地に直接行きます。

(生涯学習センター係長)

では、またあとで詳しいご案内をさせていただきますので、よろしく願いいたします。また、グループで意見交換する中で、視察されたい箇所、事業などがございましたら事務局にお教えいただければ、こちらで検討して改めてご連絡させていただきますと思います。

続きまして、各種研究大会への参加についてです。資料2をご覧くださいと思います。スケジュールの資料です。まず一つ目が、6月23日に開催されます、平成29年度社会教育委員等研修会になります。こちらの詳細は、本日配付させていただきました、一番下にいじめ見逃しゼロ県民運動というカラーのバナーが入っているチラシが6月23日の詳細となっております。こちらは午前10時から午後3時30分までとなっているもので、会場が県立生涯学習推進センターとなっております。趣旨は、社会教育委員の資質向上を図るため、社会教育委員として必要な基礎的、基本的な事項についての研修となっております。内容は配付しました資料のとおりです。こちらの研修については、特に何名ということではありませんので、ご希望があれば5月31日までに事務局に教えていただければと思います。

もう一つですが、資料2のその下に、9月12日から13日に全国社会教育研究大会北海道大会、本日配付させていただきましたこちらの資料の研修になります。9月11日から三日間にわたって札幌市で開催されるものなのですが、11日は理事会と事務局会議となっておりますので、実際にご参加になる場合には12日から二日間の日程となっております。詳細についてはこちらをご

第3 2期新潟市社会教育委員会議

覧ください。参加できる方がいらっしやいましたら、1名ご選出いただければと思います。いかがでしょうか。

(雲尾議長)

中を開いていただきますと分かりますけれども、12時からアトラクションとありますので、朝便で飛んでもらえれば間に合います。開会行事、記念講演、パネルディスカッションとなりまして、今回、全体交流会は持たないということです。ちょうど大通公園で食の祭典をやっているのです、ぜひ、そちらに出てくださいというお話でした。

(南雲委員)

ちょうど日程が合うので、出ましょうか。

(雲尾議長)

翌日の分科会が、完全に勝手にしゃべる分科会ということです。それで腹いっぱいしゃべり合おうというテーマになっています。資料を10部程度用意いただいて小グループで話し合うので、それぞれの希望される分科会を申し込んでいただくことになります。

(生涯学習センター係長)

南雲委員からご出席になれるという話がありましたので、南雲委員ご出席ということでよろしいでしょうか。

(雲尾議長)

私も幹事ですので行っております。

(生涯学習センター係長)

では、よろしく願いいたします。

資料2に戻りまして、その後、10月20日に新潟県社会教育研究大会(阿賀野市)とありますけれども、こちらが県大会となっております、新潟市が分科会を担当することになっております。その対応については次回の社会教育委員会議で検討させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。また、11月16日から17日の関東甲信越静社会教育研究大会につきましては、次回以降の社会教育委員会議の中でお諮りさせていただきたいと思っております。

(雲尾議長)

詳細が決まっていないというところもありますので、今度の木曜日に関東ブロックの会がありますので、そこで多分、詳しい説明がされると思っております。それはまたお知らせいたします。10月20日はなるべく空けておいてくださいということですね。

(生涯学習センター係長)

そうです。よろしく願いいたします。

研修大会は以上になりまして、最後に、にいがた市民大学入学式兼公開講演会のお知らせになります。今週土曜日、5月27日午後2時から新潟市民プラザで開催いたします。元にないがた市民大学受講生による自主グループの活動の紹介ですとか、各講座の紹介のあと、明治大学文学部教授の齋藤孝さんをお迎えいたしまして「日本語力と身体感覚を育てる」と題しまして、公開講演会を開催いたします。今週の土曜日と急で申し訳ないのですが、ご希望の方がいらっしやいましたら事務局までお知らせいただきたいと思います。

(雲尾議長)

そのほか、委員の皆様からございますか。

よろしいですか。それでは、これでその他まで終了いたしましたので、あとは事務局にお願いいたします。

8. 閉会

(事務局)

長時間にわたるご審議、ありがとうございました。

次回の日程ですけれども、7月12日を予定しております会場は改めてご案内させていただきます。

第32期新潟市社会教育委員会議

スケジュールに入れておいていただきたいと思います。

以上をもちまして、第32期社会教育委員会議第6回を終了いたします。皆様、大変お疲れさまでした。